



守口ロータリークラブ 週報 No. 41



ロータリー親睦活動月間

2015-16・RIテーマ

本日のピアノ演奏

1. 雨にぬれても 2. シェルズールの雨傘 3. マイ・ウェイ

本日例会 2016年06月08日(水)
(第2673回)

「鉄道の旅 その①
赤沢森林鉄道」
松尾 安彦 会員
担当：職業分類・会員選考委員会

次回例会 2016年06月15日(水)
(第2674回)

「国際ロータリー年次大会に参加して」
(韓国・ソウル)
川村弘和会長・廣瀬彰久幹事
担当：会員増強委員会

出席報告			
例会日	出席	欠席	出席率
05月25日	28 (内免除者3名)	10	73.68%【会員41名】
05月11日	35 (内免除者3名)	メークアップ3名	(92.11%)



前回例会 (2672回) 05/25 の主な内容



◎ 幹事報告 (廣瀬幹事)

- 1、次週6月1日の例会は休会です。
- 2、守口ロータリークラブ55周年を記念してジャンパーをつくる事になりました。申込表に記入して事務局までお願いいたします。



- 深田 会員 うれしい事がありました。
石井 会員 今週末、韓国で開催のロータリー世界大会に出席される皆様のご無事を祈って。
石谷 会員 本日、卓話を担当させていただきます。どうぞよろしくお願ひします。
佃 会員 卓話の時間を頂き、自己紹介をさせて頂きました。有難うございました。

5/25ニコニコBOX 1,088,000円



◆◆◆委員会だより◆◆◆

○自殺防止プロジェクト会議

日時：5月25日11：30～
場所：「事務局」出席：9名
議題：広報用のチラシについて
・委員会名について

◆◆◆第6回新理事会◆◆◆

日時：5月25日(水)13：40～
場所：「事務局」出席：12名
議題：2016～2017年度一般会計予算表について
・次年度卓話について

■ 会 長：川 村 弘 和
■ 幹 事：廣 瀬 彰 久
■ 広報雑誌・会報委員長：他 谷 勝
URL : <http://www.moriguchi-rc.jp/>

■ 例 会 場：ホテル・アゴラ大阪守口 守口市河原町10-5
TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 事 務 所：守口市河原町10-5 ホテル・アゴラ大阪守口5F 〒570-0038
TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
■ 例 会 日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

◎会長の時間

(会長 川村 弘和)

卓 話

地区米山奨学委員会
委員 石谷 隆子 会員



この週末28日、29日、30日の2泊3日でソウルの国際大会に当クラブから7名参加してまいります。

2660地区第3組ではトップであります。地区では235名の参加予定だそうです。

名水百選(5)

三重県は2ヶ所です。

三重県志摩市磯部町恵利原の恵利原の水穴(天の岩戸)。伊勢志摩国立公園内の逢坂山の中腹にある洞窟から湧き出しており、志摩用水の源水となっている。天照大神が隠れ住まれたと伝えられる伝説の場所、水穴の近くには雨乞いにご利益があるとされている水神が祀ってある。現在の参道は大正時代に真珠王御木本幸吉が、改修したと言われている。一帯は石灰岩の岩山で、伊勢神宮林等の樹木で覆われた空間となっている。周囲は透き通るように清らかな空気に満ちており、水穴から溢れる冷たい水と神々しい木立の清涼感のリラクゼーションが味わえる。

アクセスは近鉄山田線「伊勢市駅」下車、三交バス御座五ヶ所方面行「天の岩戸口」下車、徒歩15分、お車の場合は、伊勢自動車道「天の岩戸口」バス停より2km。

2つ目は、三重県四日市市智積町(チシャクチョウ)の智積養水です。この地は昔から「旱損所(カンソンショ)」といわれ、日照り続きには水が枯れ、逆に豪雨時には怒涛の如き上流から水の襲来を受けるため、穀物収穫への影響は死活問題として、川上の菰野町(コモノチョウ)と川下の智積町とは争いが絶えなかった。したがって、農業用水や生活用水の保全については、恵みの水のありがたさを、日常生活を営むなかで語り継いできた。そのような背景のもと、菰野町から清水として湧き出て智積町に至る1.8km、幅1~2mの川を町の宝として引継いで来た。毎日の米とぎや洗濯、洗顔、入浴に至るまで幼い頃から川の水を使ってきたため、人々はいつからともなく用水ではなく、暮らしを支える「智積養水」と呼ぶようになった。

アクセスは、近鉄湯の山線「桜駅」下車、徒歩3分

今日の一句は

昨日の新聞に載っていたサラリーマン川柳の優秀作を申し上げます。

- 1) 退職金もらった瞬間、妻ドローン
- 2) じいちゃんが 建てても孫は、ばちゃんち
- 3) 娘来て「誰もいないの？」オレいるよ。



佻会員、素晴らしい写真撮影をしてくださり、ありがとうございました！(広報雑誌会報委員会)

「ロータリー米山記念奨学事業のいま」

本日は卓話の機会を頂きありがとうございます。

私は今年度地区米山奨学委員会に出向させて頂いております。先輩の会員の皆様方におかれましては、御承知のことと思いますが、新しく入会された方々もいらっしゃいますので、少しお話をさせて頂き、その後DVDをご覧頂きたいと思っております。

さて、本年は「ロータリーの父」でもあります、米山梅吉氏の没後70周年にあたります。ちょうど「ロータリーの友」4月号にこの記事が掲載されております。

米山梅吉氏は、1868年(慶応4年)に江戸に生まれ、1946年(昭和21年)に逝去しました。20歳で渡米し、8年後にアメリカの知識をもって帰国し、三井銀行に入行して、銀行業務視察で欧米銀行業務を修得して、日本における銀行業務の基礎を築かれたそうです。

その後、信託に興味をもち、1924年(56歳)で三井信託株式会社を創立し、社長となって「信託の父」と呼ばれたそうです。

66歳で一切の事業から手を引き、東北農村の救済、ハンセン病等の疾病対策、自費で青山学院初等部校舎、幼稚園校舎を建設するなど、語りきれない奉仕活動を行なった方です。

ロータリーとの関わりとしては、大正6年に経済調査の為渡米し、福島喜三次氏(三井物産ダラス支店長、ダラスロータリークラブの会員)を訪問し、ロータリークラブのことを知ったとのことでした。

その結果1920年東京ロータリークラブが誕生し、日本のロータリーの創始者、米山梅吉氏の偉業を記念し、後世に残るような事業を立ちあげようという事で、現在の「米山記念奨学会」がスタートしました。

「米山記念奨学会」は日本ロータリーが協同で運営する奨学財団で、国際奨学事業としては民間最大の組織です。

ではDVDを御覧下さい。

運営はロータリーの会員の皆様の寄付で成り立っております。どうぞ御理解をお願い致します。ご清聴ありがとうございました。